

平成 30 年 2 月 25 日発行

創立 40 周年 大町山岳博物館友の会 第 174 号

ゆきつばき通信



行事のご案内

平成 30 年度 山博友の会 総会・講演会・創立 40 周年記念パーティー

友の会総会

創立 40 周年にあたる 30 年度総会を行います。友の会の活動をより有意義にするために、ぜひ多くの方にご出席いただき、意見交換いただきたいと思います。

《期 日》 4 月 15 日（日） 午後 1 時 00 分 ～ 3 時 00 分

《場 所》 山岳博物館 講堂

《内 容》 平成 29 年度の事業報告・決算報告
平成 30 年度の事業計画・予算案
その他、会員からの提議に関する協議・決議
事業・行事へのご提案ご意見ご希望をお願いします。

講演会

山岳博物館共催

～楽しく安全な登山のために～

山岳看護師 高橋恵子さん

《期 日》 4 月 15 日（日） 午後 3 時 10 分 ～ 5 時 00 分

《場 所》 山岳博物館 講堂

《参加費》 無料

《申込み》 要事前申し込み 4 月 8 日までに

参加希望者の氏名・住所・電話番号を FAX（0261-21-2133）または
Eメール（sanpaku@city.omachi.nagano.jp）でご連絡ください。

《内 容》 千葉県生まれの高橋恵さんは、順天堂大学医療看護学部に入學し、同年夏には山岳診療所でのボランティアを開始されました。「山が見えるところで働きたい」という思いから信州大学医学部付属病院に就職されました。

2014年に日本登山医学会認定山岳看護師講習にエントリーし、2016年6月に認定山岳看護師となり、現在も、山岳診療所でのボランティア活動を継続しつつ、新たにパトロール活動などを実施されています。

講演は、山岳看護師の活動のこと、高橋さんが行っている活動のこと、山岳看護師として知ってほしいことを柱にお話いただきます。

高橋さんからの問いかけです。

- 1 体調管理はできていますか？
- 2 予防はできていますか？
- 3 応急処置はできますか？

・・・・・・もしもの時のために



記念パーティー

新生友の会創立40周年にあたって、記念パーティーを行います。パーティーでは、友の会から博物館への記念品の贈呈を行います。また、写真で40年を振り返り、皆様からの懐かしいお話をうかがいます。みんなで山の歌を歌うコーナーもあります。高橋広平さんのライチョウ記録上映会もあります。

博物館内で、立食形式（椅子もあります！）のパーティーを予定していますので、お気軽にご参加ください。

《期 日》 4月15日（日） 午後6時00分 ～ 8時00分

《場 所》 山岳博物館 講堂

《会 費》 3000円（会費制立食形式 酒類の提供は行いません）

《申込み》 要事前申し込み 講演の申し込みとあわせてお願いします。

参加希望者の氏名・住所・電話番号をFAX（0261-21-2133）または
Eメール（sanpaku@city.omachi.nagano.jp）でご連絡ください

※ 紙皿、紙コップ等も用意しますが、山食器などお持ちの方はご持参ください。

平成30年度事業予定（参考）

○小鳥の声を聞く会 [単独事業]（5月）

○塩の道を歩く [単独事業]

山博企画展「北アルプス誕生—激動の500万年史」 平成30年7月21日～11月25日

○企画展講演会 「北アルプスの生い立ち」 講師：原山智氏 [共催事業]（10月）

○企画展現地見学会 爺ヶ岳（登山 1泊） [共催事業]（8月）

このほか、富山市科学博物館友の会との交流事業も予定しています。

40周年記念アンケート調査結果

友の会会員の皆さま、このたび、友の会 40 周年にあたり、会員の皆さまから多くのアンケート、貴重なご意見をお寄せ頂きまして有難うございました。心からからお礼を申し上げます。皆さまからのアンケート及び貴重なご意見、ご要望等は、運営部会等で協議しまして、40周年記念事業、また、今後の友の会活動に反映させて頂きま

ハガキ送付総数 129 通
ハガキ返却数 42 通 (32.55%)

◎問 あなたが参加したいと思うイベントは？

1. 記念登山 13名

希望の山とコメント（順不同）

- ・大町市の山 ・常念岳
- ・八方遠見尾根
- ・雄山（立山） ※7月にライチョウ観察と花を楽しみ、みくりが池のそばの温泉に1泊
- ・徳本峠越え ・室堂
- ・槍ヶ岳が見える山
- ・烏帽子岳 ・鹿島槍ヶ岳
- ・槍ヶ岳または劔岳 ※高山の場合はプロのガイドをお願いする
- ・佐渡島トレッキング（ドンデン山荘ー金北山ー白魯台又はドンデン山荘周辺散策）
- ・八方尾根→唐松岳 ※花の時期に

2. 1泊2日で塩の道を歩く 14名

- ・1泊2日にはこだわらない

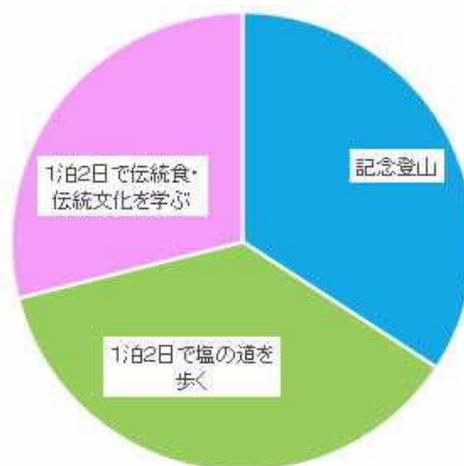
3. 1泊2日で伝統食・伝統文化を学ぶ 11名

- ・年配の方も参加できますね ・日帰りを希望

4. その他

- ・M11年にアーネスト・サトウが、上田から、池田・大町へと歩いた道をたどってみたい
- ・東山を自由に散策し、チェックポイントを巡って得点を競うウォークラリーなどはどうでしょう
- ・春山、夏山、秋山それぞれのシーズンで実施してほしい
- ・山岳書の展示、販売

あなたが参加したいと思うイベントは？



- ・ 記念パーティーがあれば参加したい
- ・ 記念講演会
- ・ 気軽に参加できるイベントがよい
- ・ 友の会の今後を考えると、中高生を対象に興味をもてる催しが望まれる
- ・ 大町周辺を歩いて、山博？で泊りたいですね。快晴の日にネ
- ・ 40 周年おめでとうございます。今は長時間家を留守にできない状況にありますが、いつかカクネ里の雪溪を見に行きたいと思っています。山岳博物館と友の会ますますのご発展を祈念しています
- ・ 大町山岳博物館、ライチョウ、カモシカが大好きで友の会に入会させて頂きました。今回の主旨にはそぐわないかもしれませんが、現場の生の声をきく機会があればと思います。博物館の事、飼育の事、友の会の事など、活字よりも伝わってきます
- ・ 本当は記念登山をしたいのですが、東京でずっと仕事をしていると体力も衰え、装備用品も古くなり、登山とは疎遠となってしまいました。塩の道は一度は訪問したいところです
- ・ 近隣の博物館を訪ねる
- ・ 類似の志向性を持った博物館巡り（博物館ネットワークの充実）
- ・ 遠方のため、なかなかイベントに参加できませんが、ここ3年企画展に行っております。山登りだけが、山ではないでしょう
- ・ 高齢で平地でなければ歩けない様な身体になってしまいましたので、消極的ですが、参加できる様なイベントがあれば申し込みたいと思います
- ・ 信濃三十三番札所めぐり
- ・ 大町の里山を歩く
- ・ 戸隠街道歩き
- ・ もう少し気軽な博物館がいま一面ほしいと思う
- ・ 友の会の行事がまだわかりにくい。もう少し良くわかると参加者も増えるように思います
- ・ 山に登る方が増えているので、初心者向けの登山がよいかも
- ・ もう登れない方が、バーチャル体験が出来ると嬉しいかも
- ・ なるべく多くの方が参加できる機会が持てたらと思います。大町、安曇野周辺の登山ガイド（三戸呂さん、植松さん→BS などに出演していた）の方に外国の山の話をしてもらう
- ・ 30 周年から 40 周年の 10 年間の活動記録の編集でどうかい。完成したらきびしい反省（俺のきびしいとは飲みながらやること）をしましょう
- ・ 記念 DVD の制作
- ・ 塩の道以外の街道歩きやトレイルなど
- ・ 熊野古道を歩く
- ・ 首都圏の会員です。なかなか時間的に参加がむずかしく残念に思っています
- ・ 「ブラタモリ」で黒部ダムの番組があり興味深く見ました。その裏情報など聞きたいです。…ちょっとすじちがいかな

- ・40周年の長きにわたる「友の会」の活動にお喜びを申し上げます。上記1～4までのイベントは、あまりにも唐突で回答できかねます

◎問 今後の友の会事業に対する希望等

1. 友の会に対する意見

- ・ぜひ友の会全員に近い人数が出席出来る大会を開催すればと思います
- ・子どもから大人まで楽しめます
- ・高校、大学生などの若い人たちへのPRを！特に自然系、理科系、山岳部などの人たちとの交流、研修会などはどうか？
- ・なかなか行事へ参加できませんが、今後とも宜しく願いいたします
- ・なかなか山博に行ってみることができませんが、時々内容が知ることができて良いことだと思っています。ありがとうございます
- ・足の調子が悪く、歩くのが苦勞で、車で移動するような伝統文化探索がよい
- ・ライチョウの様子がモニター・TVでも見られるとうれしいですね
- ・なかなか大町市に出掛けることができませんが、応援しています
- ・「特色あるふるさとの自然めぐり」の企画 ①仁科三湖めぐり ②湿原めぐり ③風穴めぐり ④ふるさとの滝めぐり ⑤巨樹・巨木めぐり ⑥山城めぐりなどふるさとの自然、歴史、文化を学ぶ場としたい
- ・会員を若がえらせる為に、山ガール達に入ってもらえるよう、各山小屋に友の会入会ガイドなど置いて積極的に勧誘できればいいと思います（協力、応援しますよ！）
- ・年に1～2度程しか博物館にいけません、毎回送られてくる冊子を楽しみにしています。友の会事務局の方々に厚くお礼申し上げます。これからもどうぞよろしく願い致します
- ・遠方なので、なかなかイベント等には参加できませんが、タイミングが合えば参加させて頂きたいと思っています。いつも資料を送って頂きありがとうございます
- ・遠方から友の会の活動を見させていただいております。皆様のご苦勞には頭が下がります。とりあえず、今のスタンスで続けていただければよいのではないのでしょうか
- ・すこし距離ができました
- ・地道な活動でしょうが、価値ある博物館です。どうか長く活動を続けられますよう、心よりお願い申し上げます
- ・会員数が減っているとのこと、まずは山博を広く知ってもらうことから始めたらどうでしょう
- ・お送りいただいている「山と博物館」や登山史資料などを読むことで十分満足しております
- ・行事のある時等、たまにはお手伝いが出来れば良いと思っています
- ・学習&野外活動
- ・フォッサマグナミュージアムや化石館等の施設見学

- ・ 天気の良い日、山博の庭で、山を眺め（コーヒーを飲み）ながら山の話をする
- ・ 役に立たない会員でごめんなさい。もっと山に関する文学が認知されると良いの
にと思います。山ガール特集とか
- ・ なかなか参加できなくて申し訳ありません
- ・ たまには県外の山に行きたい！以前のように友の会単独での企画もほしい
(えぼしとは別の一泊登山とか) 一般参加者を自動的に会員へとつなげる
- ・ 年会費（個人）が 2,000 円であれば友人、知人にも誘いやすい
- ・ 教育的なプログラムをお考えいただきたい
- ・ 「山と博物館」は、興味深く読ませていただいています。ライチョウについては
詳しくのっていて関係者の努力が良くわかります
- ・ 世代交代、若い方に入会して頂くには「友の会の楽しさ（これまでの）をアピー
ルするのはいかがでしょうか。どこに行った、何をした、と言う事を通じ、どん
な体験を得たのかが大切かと思われま
- ・ 車の運転ができないので、あまり協力できなく申し訳なく思っています。烏帽子
の会に入れていただき毎回楽しみに参加させていただいています

◎問 あなたの性別

男性 25名 女性 17名

◎問 あなたのお住い

大町市内 17名 大町市外 15名 長野県外 10名

◎問 あなたの年齢

20代 0名 30代 0名 40代 1名 50代 9名
60代 15名 70代以上 17名



ご協力ありがとうございました

【報告】

烏帽子の会

活動報告 国営アルプスあづみの公園 (1月例会)

《月日》1月21日(日) 《天気》晴 《参加者》12名

《コース状況：その他周辺情報》

下見では公園センターの受付で責任者と相談し1月21日の予約をしてくる。パラパラ降る雨の中を二人でコースを迷ったりして歩いた。そして灰焼きおやきの体験舎を見てきた。広い公園である。



当日にはノルディックウォークの講習を受け少し残っている雪の上を歩いた。溪流ピクニック広場の横溝堰や、氷河期に生成された巨岩群等々の説明を受けた。森の体験舎に戻りは灰焼きおやきを自分たちで作って、大変美味しくいただいた。

《感想》

アルプス公園のガイドさんが、知らないことを説明くださり楽しかったです。冬の寒い中家に閉じこもらず、少しトレッキングしたりすると体のためにも良く、新年早々仲間に会えたことや、天気にも恵まれ気分も晴れて、またこのあづみの公園に来たいと思いました。



それと、山の上で見る《ホシガラス》が5~6羽、大草原の所で《マツボックリ》を突いていました。珍しかったです。

《コースタイム》

9:30 国営アルプスあづみの公園集合 → ガイドさん達にノルディックウォークの講習を受けて
 10:00 公園の中のトレッキング開始 → 11:30 森の体験舎着 11:45 食工房で灰焼きおやきを作り、食べて昼食とする。 → 12:30 公園入口インフォメーションセンターへ向けて出発 →
 13:00 インフォメーションセンター着 すずむし荘のお風呂を予定していたがセンター前で解散



平成 29 年度山行予定（参加にはサークル加入が必要です）

3 月・・・上田市太郎山

担当：宮澤夫妻・塩瀬

サークル烏帽子の会へのお問い合わせは、事務局（電話：0261-23-6334）まで。

ボランティアサークル

冬季のボランティア活動は、「山と博物館」（時々ゆきつばき通信も同封）の発送が中心となっています。春からは園内整備、サクラソウの除草・駅前移動展示などが始まります。皆さんもぜひ活動に加わってください。



編集部より 「ゆきつばき～友の会創立 40 周年記念号～」 原稿募集

ご案内のように友の会も 40 周年となりました。40 年のいろいろな記録をまとめるとともに、皆さんの友の会の思い出やこれからの友の会への提言について原稿をお寄せいただければと思います。行事参加の感想文、趣味や研究の成果、山行記、随

想等等、山や自然、博物館活動にかかわることも 40 周年にからめてお書きいただければと思います。

写真やスケッチなどがありましたら添えていただくとありがたいと思います（特に昭和 50 年代の写真が不足しています）。ワープロなどで作成の場合は、テキストデータもいただければ、大変助かります。

原稿の締め切りは 10 月中頃とし、来年 3 月頃の発行を予定しています。ゆきつばきの全バックナンバーを PDF データ（CD-ROM 収納）で付録とします。

takuya-m@juno.ocn.ne.jp（丸山卓哉）宛てお送りいただいてもかまいません。その際、件名に「ゆきつばき」等をお付け下さい。写真等も添付できます。受領確認した場合は返信しますのでご確認ください。

こちらから原稿をお願いすることもあるかと思いますが、ぜひご協力をお願いします。

ゆきつばき通信編集室より

博物館周辺は雪の少ない状態が続いています。今号は総会、記念講演会と山博友の会創立 40 周年記念パーティーのご案内です。今年度は、記念の「ゆきつばき」を発行いたします。皆さんの友の会活動への思いを在籍年数に関らずお寄せいただければと思います。

一方、ゆきつばき通信には皆さんの行事参加感想文や山行の投稿なども載せていきます。ぜひ投稿をお願いします。次号は総会後の予定です。

〔投稿先〕

編集部丸山アドレス takuya-m@juno.ocn.ne.jp（件名に「ゆきつばき通信」「ゆきつばき」等を付けてください）もしくは、山岳博物館の事務局に郵送してください。

（丸山卓哉）

山博ページ <http://www.omachi-sanpaku.com/>

友の会は、山博の情報発信のために山博ホームページの維持に協力しています

会費のご案内

会費振替口座番号 00550-2-24194 加入者名 山博友の会

ファミリー 4,000 円 個人 3,500 円 学生 2,000 円

※ファミリー会員とは、同居または扶養家族をさします。学生会員とは、小学生～大学生までをさします。4 月が年度切り替えとなっています。中途入会の場合は年度当初にさかのぼって出版物等を配布します。賛助会員につきましてはお問い合わせください。

ゆきつばき通信 第 174 号

発行／大町山岳博物館友の会 平成 30 年 2 月 25 日

〒398-0002 長野県大町市大町 8056-1

大町山岳博物館内 山博友の会事務局 Tel/Fax 0261-23-6334